

「フェイクを見極める」

開催地：大阪

グループ： 7班

2021.9.12

子供から大人そして次の世代へ

常に疑うことを忘れない

ネットを使う上でフェイクを拡散しないため
どの利用者も必要な考え
それは『常に情報を疑う』こと
この考えを定着させるために
まず**子供から教育**を行う

子供が自ら学べる機会を

2022年→成年年齢引き下げ

若い世代一人ひとりに責任がある！

◎子供が自分で考える形式の授業

- ・大人が一方的に子供に教えるのではなく、子供が自分で自分なりの答えを考える。
→物事を鵜呑みにしない力を養う
- ・プレゼンによって周りの大人に伝える。
→今の時代に求められる力（発信力）を身に着ける

子供から大人へ

- ・小学生・中学生・高校生を対象に今のような機会をつくる。

→話し合ったものを親に伝えることで伝える力を養う。

- ・子供から大人へ対する講演会など、発表する場をつくり、大きくメディアに報道してもらおう。

→子供から与えられる衝撃は大きいと思うから記憶に残りやすいのではないか。

大人に伝えるSNS

SNSなど流行に詳しい→若者
社会で影響力がある→大人

大人にもSNSの情報を知ってもらうためには、
SNSは正しく使えばとても便利で楽しい！
間違った情報は自分で判断することが大切
非常時こそ冷静な判断を

SNSを活用する

話し続けるのは聞いているほうが飽きる。

☞ ・目を引くような動画とかを作り、YouTubeなどのおすすめに載せてもらう。

・ **いろんなジャンル**の有名な方とのコラボなどで私たちの世代が発信する。

そうすることで、**ネットを使う世代**には伝わる！

(大人に伝えることもできるし、子供も見ることができる)

子供達が議論する場

学校内で現代社会について
議論を行う科目「ネット社会」を作る



子供達の考えを尊重するため**大人は口を出さない**

グループに分かれ意見を
出し調べプレゼンを行う

他校との交流として各校代表者が集まる機会を作る

ネットリテラシーを身近に

クイズ形式の吊り広告を電車に掲示



吊り広告だけでなく、ふとしたところに
目に付く場所に掲示

学校からの手紙として親にプリントを配布する



よりたくさんの方の世代に見てもらえることができる

ありがとうございました！